

# 榛東村 農業委員会だより

第11号

発行：榛東村農業委員会

住所：〒370-3593  
群馬県北群馬郡  
榛東村新井790-1

TEL：0279-26-2585



## 新年のご挨拶

榛東村農業委員会 会長 柳岡 稔



新年あけましておめでとう  
ございます。

村民皆様方には、平素から  
農業委員会の活動に格別の御  
理解と御協力を賜り、衷心よ  
り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ります  
と、新年早々、能登半島でマ  
グニチュード7.6の大地震  
が発生し、能登半島全域に甚  
大な被害をもたらしました。  
能登の皆様が大変辛い思いを  
されていると思うと心が痛み  
ます。

被災された皆様に心からお  
見舞いを申し上げますと共に、  
一刻も早い復旧と平穏な日常  
に戻られますことをお祈り申  
し上げます。

また、昨年は、異常気象に  
よって、各地に豪雨などの影  
響による土砂崩れ、水害など

が頻繁に起きました。榛東村  
においても、長雨、高温障害  
などの影響を受け、果実のな  
り具合や色づきが悪くなり、  
米、野菜等は、病害虫の発生  
等によって、収穫にも影響を  
もたりました。

農業を取り巻く情勢は、非  
常に厳しく、今も続くロシア  
とウクライナの戦争、円安に  
よる、農業資材、燃料、飼料  
の高騰、農業者の高齢化、担  
い手不足及びそれに伴った遊  
休農地の発生が問題となつて  
います。

そうした中、農業後継者、  
担い手への農地の利用集積、  
集約化の方針など、地域農業  
の十年後の将来のあり方につ  
いて、地域ごとに話し合いの  
場を設けて、その考え方をま  
とめた「地域計画」の策定を  
今年3月末までに行う予定で  
す。

結びに、本年が皆様にとり  
まして良い年となりますこと  
を心から御祈念申し上げます  
のご挨拶といたします。

農業委員

第23期農業委員会委員を紹介します



会計  
萩原 明美  
(3区)



会長職務代理  
小山 伸一  
(9区)



会長  
柳岡 稔  
(4区)



飯塚 綾子  
(10区)



内海 優司  
(8区)



高橋 裕  
(7区)



星野 一郎  
(1区)



村上 誠一  
(18区)



田嶋 久実  
(16区)



一倉 伸一  
(13区)



真下 治彦  
(11区)

農業委員会の活動内容について

農業委員

- ・ 農地の売買・貸借の許可
- ・ 農地転用案件への意見具申
- ・ 農地の現地確認
- ・ 紛争の調停・仲介

農地利用最適化推進委員

- ・ 担い手への農地利用の集積・集約化
- ・ 遊休農地の発生防止・解消
- ・ 新規参入の促進
- ・ 農地の現地確認

榛東村では、委員の人数が少ないことから、業務を完全に分割せずに、農業委員と農地利用最適化推進委員が連携しそれぞれの業務に取り組んでいます。

農地利用最適化推進委員



湯浅 幸弘  
(6区)



牧口 誉詞  
(5区)



岩田 悦夫  
(2区)



推進委員長  
立見 清彦  
(12区)



大山 清巳  
(19区)



金井 強  
(15区)



羽鳥 静男  
(10区)

農地のことでお困りの際は、お近くの委員にお気軽にご相談ください。

農地転用について

○農地転用とは

たとえば、「自分の畑に家を建てたい」、「資材置き場として畑を売りたい」という場合には、農地転用の手続きが必要です。

農地を転用する場合、または農地を転用するために所有権などの権利を設定もしくは移転する場合には、県知事の許可を受けなければならぬことになっています。

ただし、「農用地区域内農地」、「第1種農地」などの優良農地などは、許可がない場合があります。

▼お問合せ

農業委員会事務局

(0279-26-2500)

農政施策について意見

令和6年11月5日に南村長に対して、榛東村の農業施策に関する意見書を提出しました。

意見項目

- ・榛東村の農業の状況
- ・ブランド化の促進
- ・新規就農支援
- ・認定農業者への支援
- ・中小規模の農業者に  
対する支援
- ・地域計画の実行
- ・農地の活用促進対策
- ・鳥獣害対策の拡充
- ・経営所得安定対策
- ・多面的機能支払交付金
- ・自然災害等発生時の  
農業者への支援



## 第23期農業委員会 活動を振り返って

令和5年5月から、現在の体制となり、スタートした農業委員会ですが、ここでは、これまでの活動を振り返り、これからの意気込みについて、紹介していきます。

### 6区農地利用最適化推進委員

湯浅 幸弘

最適化推進委員の仕事は「農地利用の集積・集約化」、「遊休農地の発生防止・解消」、「新規参入者への支援」ですが、1期目の22期はコロナ禍ということもあり、その活動に関する研修の受講などを制約されることが多かった1年に感じます。

コロナ禍が収束に向かいつつある現在の23期では、各地域で将来的に誰がどのように農業を進めて行くかを決める、それまでの人・農地プランに地域農業の状況などを見える化し、目標地図を加えた「地域計画」の策定が各市町村で始まりました。

令和7年3月末までに策定することとされており、榛東村でも協議の場を設けて調整しています。推進委員はその職務上地域計画の実現を支援する役目も負っているため、その間の計画の確認と修正への協議には積極的に協力していきたいと考えています。

### 10区農業委員 飯塚 綾子

農業委員として任命を受け、早くも任期の半分を越えました。

新型コロナウイルスの影響により活動や研修が制限されていましたが、コロナが5類に移行したことにより少しずつ緩和されてきています。

榛東村の農業・農地を取り巻く状況は大変厳しいもので、高齢化や後継者不足が一番の問題点となっているように思われます。耕作放棄地の増加・中山間地域としての事情を踏まえての農地利用等、課題は山積しております。農地集積化計画も進めていかねばならず農家の皆さんの協力も必要となります。

また、農業・農地を守るためには農産物をブランド化していくことも有効だと思われまます。生産者の方の意見をお聞かせいただき、

榛東村の農業発展につなげていけたらと考えています。

新規就農されて、頑張っておられる方もいます。これからの農業経営を安定させるためにも、「男女共同参画」を推進して、女性の視点も活かせるよう、女性農業者の方や、他の色々な職種の方とも交流して参りたいと考えています。





5区農地利用最適化推進委員  
牧口 誉詞

enjoy SHINTO 村づくり祭

# イベントレポート

今年の産業祭は、装いも新たに「enjoy SHINTO村づくり祭」と名称と内容が一部変更になって開催されました。

当日、11月10日は雨こそ降らないものの、朝からどんよりとした肌寒い日でしたが10時の開会式が始まる頃には、多くの来場者が開会式会場前に集まっていました。南村長の挨拶から始まり、清水真人参議院議員、大林県議会議員等が祝辞を述べられました。また、来賓として玉村町長、吉岡町長、神奈川県大井町長、相馬原駐屯地及び防衛省関係者等登壇者の紹介がありました。



我々、農業委員会出店ブースでは、リンゴとミカンの格安販売をおこない大盛況のうちに、なんと午前中の早い時間にリンゴが完売し、昼前にはミカンも完売するという嬉しい誤算がありました。また、今年も大洗町や大井町の特産品出店ブースには、誰もが垂涎の品が並べられていました。どのブースでも多くの来場者で賑わっていました。特に今年印象的だったブースとしては、あつあつのなめこの味噌汁や榛東産のコシヒカリを使った炊立てご飯のおにぎりを配っていたブースではないでしょうか。終日大勢の人で賑わっていました。

## 新規就農者の紹介

榛東村で新規就農した農業者取材しましたので紹介します。

### 無農薬栽培を目指して

#### 「ダイコン・ニンジン」

石坂 邦洋さん (令和5年就農)

石坂さんは、ご先祖から受け継がれた農地を放っておけないと思い、農業を始めることを決めました。元々は保育園の先生として勤務していましたが、農業大学の社会人コースで一年間の学びを経て、2年前から本格的に榛東で野菜栽培に取り組んでいます。

栽培品目は、ダイコン・ニンジンを中心としており、春先にはタラの芽や山うども栽培されています。販売先は、道の駅まえばし赤城と、東京の八百屋さんで、煮炊き用に最適なダイコン「あじまるみ」を葉付きで出荷するので、珍しがられ好評だそうです。

また、昨年にはエコファーマー認定を受け、



環境に優しい農業を目指し、低農薬にこだわった野菜栽培を行っています。冬野菜の温度管理には、畝に防除用シートをトンネル状にかけて冷気を遮る「トンネル栽培」という栽培法を取り入れており、作業の中でトンネルを掛けるのが一番大変とのこと。今後の目標としては、畑を1ヘクタールほどに拡



大し、可能な限り無農薬での栽培を目指していくとのこと。新しいことを積極的に試し、野菜栽培に真摯に向き合う姿が印象的でした。

取材者 湯浅推進委員 6区

飯塚農業委員 10区

## 夢は『FAR夢渡辺』の ブランド化

渡辺翔月・晴音さんご夫妻

(令和6年就農)

非農家の家庭で育ちながらも、農業の世界に飛び込んだ渡辺ご夫妻を紹介します。

祖父母の影響で小学生の頃から植物栽培や農業機械に興味を持ち始め、北海道での酪農経験を経て、3年前から榛東で農業に取り組んでいます。稲作のほかトウモロコシ・茄子・ブロッコリーを中心に様々な野菜の露地栽培をされています。高校大学で農業を学んだ奥様との二人三脚、更に二人を雇用し、多くの農業機械で現在の作業倉庫が手狭になりつつあるようです。

特に、稲作には力を入れていて、現在はコシヒカリとミルキークイーン等を作付けしていますが、将来は耕作面積を3倍程度まで事業拡大をしていきたい目標を持っています。JAやスーパー等販路も拡大していますが、直売を大切にされているそうです。消費者の声を直接聞くと、更に良いものを提供してい

きたいと意欲が湧き、FAR夢渡辺ブランドの米をもっと送り出していきたい夢をお持ちです。

また、極力農薬使用は少なくし有機農法に近いものを目指し、ビール製造の残渣を利用した堆肥を活用したりしています。将来的には酪農農家と協力し飼料と肥料の提携や地域環境の保全、地域社会の活性化にも目を向けていきたいと考えています。



地域の方々の助言や先輩農家とのネットワークを活用し、若いながらも豊富な知識と情報をお持ちであり、農業の担い手が不足し農地の集積化が求められる状況の中、これらの農業の手本、リーダーとして活躍を期待しています。

取材者 岩田推進委員 2区

牧口推進委員 5区



# 「農地パトロール （利用状況調査）」を実施

8月末まで村内において「農地パトロール（利用状況調査）」を行いました。調査後、耕作管理がされていない農地の所有者や管理者に対し、文書及び口頭による改善のお願いと利用意向調査を行いました。

農地パトロールは、①地域の農地利用の確認、②遊休農地の実態把握と発生防止・解消、③違反転用発生防止・早期発見について重点的に取り組むことを目的としています。



## 全国農業新聞

全国農業新聞は農業委員会系統組織が発行する農業に関する専門紙です。農業及び農政の現状を中心に農業者の経営とくらしに役立つ情報をお届けします。

毎週金曜日発行  
月700円（送料・税込み）  
申し込みは、農業委員会まで

## 農業者年金

次の条件を満たせば加入できます

- ・ 国民年金第1号被保険者
- ・ 年間60日以上農業に従事
- ・ 60歳未満

積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る金額が決まる積立方式・確定拠出型ですので、少子高齢化時代でも非常に安定的な財政方式の年金です。

保険料は月額2万円※から6万7千円の間で、千円単位で自由に決められ、途中の見直しも可能です。（※条件により2万円未満でも始められます）

保険料は全額社会保険料控除の対象となる税制優遇があります。

詳しくは、JA窓口または農業委員会まで

## 令和6年度遊休農地実態調査結果表

地目	農振法	前年度 (転用許可地除く)	当該年度 (転用許可地除く)	比較増減
田	農振地域 (青地)	7,914㎡	11,402㎡	3,488㎡
	農振除外地 (白地)	522㎡	㎡	-522㎡
	計	8,436㎡	11,402㎡	2,966㎡
畑	農振地域 (青地)	49,409㎡	70,962㎡	21,553㎡
	農振除外地 (白地)	7,905㎡	11,257㎡	3,352㎡
	計	57,314㎡	82,219㎡	24,905㎡
合計	面積	65,750㎡	93,621㎡	27,871㎡
	筆数	66筆	89筆	23筆